

保護者の皆様へ

—在学生の今と未来を応援する、学生支援のご案内—

秋麗の季節となり、キャンパスにも学生たちの笑顔があふれています。皆様のお子様が東京農工大学の門をくぐられてから、3年目の春を迎えられました。勉学はもちろん、サークルや友人との交流など、かけがえのない学生生活を送られていることと存じます。

さて、今回は、そんな学生の皆さんの大学生活をさらに豊かにし、未来への一步を力強く後押しする「東京農工大学同窓会」の取り組みを、ぜひ保護者の皆様にも知っていただきたく、ご案内させていただくことにいたしました。

■創基 150 周年の歴史が育んだ、約 5 万 2 千人の先輩たちとの絆

私たちの母校、東京農工大学は、昨年で創基 150 年を迎えた大変歴史と伝統のある大学です。そして、その卒業生からなる同窓会は、今や約 5 万 2 千人もの大きなコミュニティーとなりました。

同窓生は、日本全国、そして世界中のさまざまな分野で、技術者、研究者、経営者として活躍しています。この広くて強い「縦と横のつながり」は、農工大生の大きな財産です。

学生の皆さんは、ご入学と同時に私たち同窓会の「準会員」として、この大きな輪の一員となられ、在学中から卒業後まで、人生のあらゆるステージで、頼りになる先輩たちとの絆が続いていきます。

同窓会の活動は、会報誌「農工通信」（賛助会員の皆様にお届けします）や、ホームページでご紹介しております。また、ホームページの「交流ラウンジ」では、まだまだほんの一部ですが、「かがやく同窓生」「がんばる在校生」「活躍する教職員」の「今」の活躍をご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

■同窓会からの2つのサポート！

1. 就職活動を、経験豊かな卒業生が徹底サポート！

学生の皆さんの進路を考える上で、最も心強い味方となるのが、同じ大学で学び、社会で活躍する先輩たちです。同窓会では、キャリアアドバイザーとして経験豊富な卒業生を大学に派遣しています。

企業のリアルな情報から、エントリーシートの書き方、面接のコツまで、一人ひとりの相談に親身になって、納得のいく進路決定を全力で応援します。

2. 頑張る学生を、表彰と奨励金で応援します！

同窓会は、学生の皆さんの「やってみたい！」という気持ちを大切にしたいと考えています。研究や学会発表、コンテスト・コンクール、サークル活動、学園祭など、さまざまな分野における果敢な挑戦とひたむきな努力を「研究課外活動奨励賞」として表彰し、副賞として奨励金を授与しています。この支援が次なる挑戦への活力となることを願っています。

令和 6 年度 学生援助事業実績

事 項	件 数	金 額	事 項	件 数	金 額
学会発表<参加・出場>	142 名	710,000 円	学園祭	2 件	200,000 円
学会発表<入賞>	35 名	175,000 円	サークル活動	20 件	1,000,000 円
コンテスト・コンクール<出場>	27 団体	270,000 円	リーダーストレージング	1 件	50,000 円
コンテスト・コンクール<入賞>	19 団体	95,000 円	キャリアアドバイザー支援	2 件	120,000 円
優秀卒業論文	8 学科	80,000 円	卒業・修了証書カバー贈呈	1,840 名	1,183,200 円
			合計		3,883,200 円

在学生への就職活動支援



合同企業研究会：

大学が主催する合同企業研究会開催に連携協力をしています。様々な業種の企業を集めた研究会の実施により、在学生の皆さんの業種・職種に関する知見が広がることで、キャリア形成に資することを目的としています。



進路・就職相談室： キャリアアドバイザー（OB）の派遣

進路・就職相談室では、就職活動におけるエントリーシートの書き方や面接の実践対策だけにとどまらず、あらゆる相談に個別に応じています。コロナ禍以降、企業の採用方法が大幅に変わってきている中、その情報をいち早く収集して、在学生の皆さんに発信しております。

よりよい進路を見つけ実り多い人生を迎えられることを願っています。



令和6年度 研究課外活動奨励賞の交付を受けた学生さんのコメント

森原 大智さん 連合農学研究科 応用生命化学専攻 2年

この度は同窓会の学生援助事業において奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。私は「第254回生理学東京談話会」において、「三叉神経系嗅覚刺激による脳局所血流反応および加齢変化の解析」という演題で口頭発表を行い、優秀演題賞を受賞しました。アルツハイマー型認知症の初期症状として嗅覚障害が知られています。我々の研究室では、認知機能、嗅覚機能低下の関わりについて脳血流に着目した研究を行っています。今回受賞した研究は、三叉神経系嗅覚刺激による脳血流反応を加齢変化も含めて解析したという内容です。

今後はメカニズムの追究や発展的な研究をしたいと思っています。この場をお借りしまして、研究指導および助言を賜りました東京都健康長寿医療センター研究所自律神経機能部門の内田さえ先生をはじめ、同研究室の先生方に深く感謝申し上げます。

今後も更なる発展を目指し研究活動に取り組みたいと思っています。



今井 翔月さん 工学府 生命工学専攻 1年

2024年9月、東京で開催された第76回生物工学会大会において、学部4年生として「抗CLIC1モノクローナル抗体のがん細胞に対する浸潤抑制効果」を発表し、発表賞を頂く機会に恵まれました。本研究は、膜タンパク質CLIC1を標的とする抗体が腫瘍細胞の浸潤を有意に低減させることを示し、がん転移抑制への新たな道を示唆しています。振り返れば、学部1年次に仲間と立ち上げた研究サークルでの文献輪読や活発な議論、研究室で繰り返した試行錯誤が今回の成果を支えてくれました。議論を通じて得た視点や、失敗の連続のなかで磨かれた実験技術が、データの信頼性を高め、発表の質を底上げしてくれたと実感しています。受賞の報せは背筋が伸びる思いでしたが、これで満足せず、抗体改良や薬物複合化など次の課題に挑戦し続けます。

がんの転移を制御する治療戦略を実用化へ近づけるべく、今後も粘り強く研究を進め、同窓の皆様の良い報告ができるよう励みます。



未来へはばたく在学生へ ご支援のお願い

さて、このようなサポートは、すべて保護者の皆様からいただく「賛助会費」と、卒業生からの会費によって運営されています。次世代を担う農工大生一人ひとりへの温かいエールとして、本会の活動にご理解ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

なお、この賛助会費は、在学中はご子息・ご息女が前述の「研究課外活動奨励賞」などの支援制度を最大限活用するための基盤となるだけでなく、ご卒業されますと自動的にご本人の「同窓会終身会費」となります。

賛助会費の納入がお済みでなく、今回このリーフレットをご覧いただき納入をご希望される方は、同窓会事務局までご連絡ください。何卒よろしく願い申し上げます。

電話：042-364-3328 / メールアドレス：info@tuatdousokai.jp.org

HP

